

# 消費税 黙っていたら大增税 許すまい！庶民大增税

消費税をなくす東大和の会季刊ニュース No.36

2014年10月＊日発行 連絡先 ☎042-564-7836(堀口)

消費税の10%への再引き上げをやめさせ  
元に戻させましょう



今、自民党のなかにも慎重論が出るほど家計は悪化し景気の先行きは暗くなっています。10%への再引き上げをやめさせ元に戻させましょう！！

どの世論調査でも、消費税増税反対の声が賛成派を圧倒しています。

この国民の声と私たち増税反対運動に抵抗する発言もあります。経団連等財界、そして「庶民」増税(大企業減税)路線を提唱してきた自公民ですが、来年秋からの再増税に待ったをかける声が自民党のなかからも出始めています。

アベノミクスの仕掛け人・元経済産業副大

臣の自民党山本幸三衆議院議員が取材に次のように述べたとロイターが報道しています(10月8日)「消費税の再引き上げは一年半先送りすべきだ。円安が進んでも輸出が伸びないのが最大の誤算、四月の消費税引き上げの悪影響だけが残り実質賃金マイナスの重さが家計にのしかかっている」6月の取材には「予定通り再引き上げすべき」と答えていた議員ですら方針転換を提言しているのです。いのちと暮らしを守るためにもう一回り運動を広げましょう。

消費税をなくす東大和の会  
代表世話人 堀口國雄



# 低所得者ほど高負担になる「逆進性」

「消費税」は食べていくのに必要な「生活費」に課税する憲法違反の税制

7月28日、立川税務署管内の東京土建や民主商工会を構成団体に運営している、「立川税制民主化協議会」総会の冒頭、立正大学法学部客員教授の浦野広明さんを講師に、「みんなで学ぼう！消費税の本質」と題する学習会が開催されました。

「10%増税をやめさせ、消費税の廃止をめざす運動を前進させるため、消費税の本質をあらためて学習しよう」と開催されたものです。

消費税は、税負担する能力に関係なく、消費一般を対象に、広く負担を求める税金です。浦野さん



は、「日本国憲法」が求める税負担の原則は、各人が経済的負担能力に応じて税負担するという、応能負担原則にあるが、消費税は、経済的負担能力のない人に、より多くの負担を強いるという「逆進性」を本質とする、憲法違反の税制であることを明らかにし、所得税を租税の中心に位置付けた、応能原則にもとづく税制を確立していくことの重要性を強調しました。

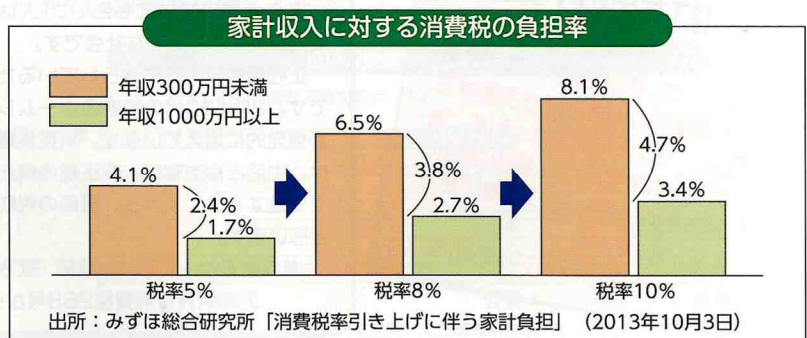
消費者が負担した消費税は、商品を販売した事業者が納税します。大企業は、消費税を価格

に転嫁(上乘せ)し、利益を確保できますが、力の弱い中小企業は、転嫁できず、倒産、廃業に追い込まれていきます。私たちが購入する生活必需品の多くは大企業の製品ですが、消費者は大企業が一方的に高い値段をつけた生活必需品を、苦しい生活の中で購入しなければ、生きていけません。

浦野さんは、消費税が、所得の少ない高齢者や障害者、中小零細業者などの社会的弱者に多大な負担を強いる税金であることを、強調しました。

消費税が導入される4年前、中曽根康弘首相(当時)は、国会で「羊の鳴かないように毛をむしるのが税の極意だ」と発言しましたがとんでもありません。いま、多くの国民が、4月からの増税に苦しみ、10%増税中止を求める世論が6割から7割に広がっています。「生活費に課税する消費税」「負担能力を無視して課税する消費税」は廃止するしかないことを、多くの国民に理解してもらい、大企業、大資産家優遇の「逆立ち税制」を正していくことの重要性をあらためて理解することができた学習会でした。

立川税制民主化協議会事務局長 内田 高志



# ストップ 消費税10% 東大和自動車パレード

「消費税10%にストップをかける自動車パレード」(主催・同有志実行委員会)が、8月30日に行われました。ステッカーを前後左右に張り巡らし風船をつけた17台の



車に約50人が分乗、宣伝カーを先頭に「生活と営業破壊する消費税10%、やめさせましょう」と訴えながら、1時間半市内をパレードしました。

目を引く車列からの訴えに応じて、沿道や対向車から手を振る人の姿も見られました。

日本共産党東大和市議団 森田真一



## ◆東大和市民連主催自動車パレード◆

消費税だけでなく、集团的自衛権や原発、オスプレイ、核兵器廃絶なども掲げて取り組みます。

日時 10月25日(土)午後2時集合、3時出発

会場 蔵敷公民館101に集合

主催 東大和市民連絡会

# 東京土建主婦の会が家計簿調査

## 消費税10%で世帯負担は平均30万円

東京土建村山大和支部主婦の会が7月に実施した消費税の家計簿調査は、29人の会員から回答がありました。

1週間の買い物のレシートの計算と、公共料金レシートを集計した調査です。

以下調査の集計結果をお知らせします。

- ①公共料金を含むレシートによる1週間の消費税平均負担額は、5,662円
- ②電気、ガス、水道など、公共料金の月平均消費税負担額は1,416円
- ③1か月の消費税負担額は19,613円
- ⑤消費税の年間負担額は235,356円

⑥10%になったばあいの消費税の年間負担額は294,195円

⑦10%になった場合の組合員全員の払う消費税は、5.4億円(1863世帯)

## 生活実態アンケートより

◆消費税が8%になって、衣類はほとんど買わなくなった。食費をなるべく切り詰めている。年金だけでは生活できないので、わずかな預金を毎月とりくずしている。預金がなくなったら生活できない。消費税は絶対反対！とるのであれば、ゆりかごから墓場まで全て無料にして欲しい。(70代・女性)

## 定例署名行動

**消費税増税をやめさせるために、定例署名行動にぜひご参加ください。**

- ◆ 10月24日(金)17時-18時 玉川上水駅前
- ◆ 11月24日(月)14時-15時 ヤオコー前
- ◆ 12月24日(水)16時-17時 玉川上水駅前
- ◆ 1月24日(土)14時-15時 ヤオコー前

### ◆ ◆ ある日の街頭署名 ◆ ◆

8%への増税から5ヶ月後の8月24日、東大和のヨーカドー前、参加は8人(うち女性6人)、消費税増税反対請願署名が普段より多い40筆寄せられました。

向こうから近づいてきた東南アジア系の家族(壮年のご両親と娘さん)、お母さんが片言の日本語で、「消費税とても困る。もっと上がったらもっと困る…」と、3人そろってカタカナで署名しました。(狭山・加藤)



## 学習情報交換会

消費税廃止をめざし、学習会兼情報交換会をおこなっています。ぜひご参加ください。

- ◆ 10月15日(水)14時-16時 中央公民館
- ◆ 11月19日(水)14時-16時 中央公民館
- ◆ 12月17日(水)14時-16時 中央公民館
- ◆ 1月21日(水)14時-16時 中央公民館

## 第18回 立川税研集会

◆ 日時11月27日(木)PM7:00  
会場 たましんRISURUホール(旧市民会館)  
講演 消費税増税は許されない(仮題)  
弁士 湖東 京至(元静岡大教授・税理士)

## 生活実態アンケート

消費税をなくす東大和の会では、会員のみなさまの生活実態アンケートに取り組んでいます。(3面)

別紙アンケート用紙に記入うえ、ファックスにてご回答ください。

アンケート結果は、次回のなくす会ニュースでお知らせします。

## 消費税をなくす東大和の会の取り組み

=2004年8月～2014年9月=

- ◆ 署名行動参加者…累計755人
- ◆ 消費税増税反対署名数…3,497筆
- ◆ 入会申込(再開後累計)…400人
- ◆ 会員数(設立来累計)…733人

### ブログ川柳「消費税」

- ◆ 消費税 増えて一品 おかず減る
- ◆ ああ安い よくよく見ると 税別か
- ◆ アベノミクス 消費税上げは 第4の矢
- ◆ 上がるたび 購入意欲 また下がり
- ◆ 消費者の 為にならない 消費税
- ◆ 消費する 力がなくなる 消費税
- ◆ 消費税 金持ちだけが 得をする
- ◆ 税上げて 公共事業で 散財し
- ◆ 上がったら  
我が家破たんが 目に見える
- ◆ 悪魔の増税  
貧困は更に貧困 金持は高笑
- ◆ 消費税 五輪招致で 正当化
- ◆ 消費税 上げて下がるは 法人税
- ◆ 欧米並みと  
言いつつ無視する ゼロ税率
- ◆ 消費税 貯めたお金の 価値が減り
- ◆ 何故上げる 庶民の苦しさ 分かってない